



通所支援事業



通所支援事業の行事

通所支援事業では、年間を通してさまざまな行事を行っています。行事をすることによって季節の移り変わりを感じ、季節感を大切にするという気持ちが芽生えていくように思います。職員はもちろん、通所支援の利用者さんも本来の行事の意味や詳しい内容等については理解できていないかもしれませんが、いつもとは「ちょっと違う」ウキウキした雰囲気の中で過ごすのは、おとなにとっても、子どもにとっても、とてもワクワクした楽しい日になるように感じています。

また、遊びを通して行事に取り組むことで、日本の伝統や慣習なども難しくとらえず、楽しみながら視野や活動の幅を広げる経験ができていくように思います。5月と6月は「子どもの日」「母の日」「父の日」と行事（イベント）が多い

時期です。感謝の気持ちを持ち、きちんと伝えることで心の成長が促されるように感じています。普段はちょっと照れ臭かったり、言うタイミングがなかったりする人こそ、お互いへの気持ちを確認し、家族の絆

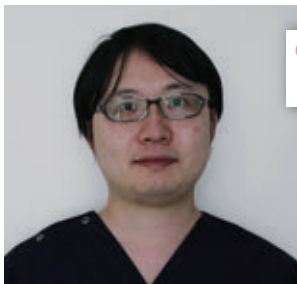
も深めてみてはいかがでしょうか。今年はぜひ家族でさまざまな行事を企画してみてください。もちろん、通所支援事業もすでにあれこれ企画中です。今から楽しみいっぱいです。

（主任児童指導員 丸澤 由美子）



新任のごあいさつ

2019年5月1日付



● 歯科口腔外科
稲垣 俊弘 先生

三重大学歯科口腔外科から参りました稲垣俊弘と申します。2009年に三重大学に入局し、朝日大学の大学院を卒業して、2016年に三重大学に再入局させていただきました。

現在は助教として口腔外科を専門にさせていただいておりますが、家族の影響もあり一般歯科も積極的に学んでおり勉強会などにも参加しております。

三重病院は小児の患者が多い病院であり、患者対応や投薬などではより注意が必要であると考えております。そのため、他科の先生や看護師の方々にもお伺いすることが今後あるとは思いますが、何卒よろしくお願い致します。

三重病院の診療を少しでもお手伝いさせていただければと考えていますので、よろしくお願い致します。



● 歯科口腔外科
黒原 一人 先生

黒原一人（くろはらかずと）と申します。普段は三重大学歯科口腔外科にいます。病院歯科の診療において、疾患を持っている方の歯科口腔外科治療の大切さや難しさを日々実感しています。特に小児、高齢者は歯科疾患の予防と治療の必要性が高く、歯科治療の難しさがあると考えていま

す。三重病院においても松村佳彦先生はじめ歯科スタッフの方々、各科の先生方・スタッフの方々のご指導の下、研鑽を積みつつ、皆様のお役に立てるように頑張りたいと思います。出身は東京で、東京医科歯科大学歯学部卒です。最近では三重の魅力発見にハマっています。東京から三重にきて2年が経ちましたが、まだまだ新発見があります。研究テーマの骨吸収抑制剤関連顎骨壊死、顎変形症・口唇口蓋裂治療、口腔癌治療などでも、いっぱい新発見をしたいのですが、こちらは思うようにいかないのが目下の悩みです。こんな小生ではありますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



● 歯科口腔外科 歯科衛生士
堀 琴雅さんのご紹介

2019年3月1日より歯科口腔外科に歯科衛生士として新規採用となりました「堀 琴雅（ホリコトカ）さん」をご紹介します。

愛知学院大学短期大学部歯科衛生士学科を卒業、歯科衛生士免許を取得し、名古屋市内の歯科医院に勤務しておりました。その後、音楽大学音楽部音楽学科3年生に編入され、さらに大学院研究科に進学、無事卒業されました。

以前より興味があった口腔外科を中心とした病院勤務を探されており、今回縁あって当院に来ていただくこととなりました。今後は三重病院の一員として皆様の暖かいご指導ご鞭撻をいただければ幸いです。（歯科口腔外科医長 松村 佳彦）